

平成 28 年度 第 2 回長野市総合計画審議会 会議録

日 時：平成 28 年 8 月 26 日（金） 午後 2 時から

場 所：第一・第二委員会室（第一庁舎 7 階）

出席者：委 員/ 三浦会長、園原副会長、有澤委員、池田委員、上野委員、碓井委員、金井委員、川北委員、白石委員、滝沢委員、藤森委員、堀江委員、本間委員、柳沢委員、山口委員

長野市/ 小川総務部長、増田企画政策部長、平野財政部長、竹内市民生活部長、田中保健福祉部長、上杉こども未来部長、井上環境部長、久保田商工観光部長、倉石文化スポーツ振興部長、西島農林部長、上平建設部長、轟都市整備部長、島田駅周辺整備部長、松本教育次長（行政）、熊谷教育次長（教育）、戸谷上下水道局長、瀧澤消防局長、西澤危機管理防災監

事務局/（企画課） 倉島課長、花立主幹、小川係長、轟係長、佐久間係長、竹内主査、宮坂主査、奥田主査、白澤主事

（人口増推進課） 藤橋課長、川上補佐、関谷係長

1 開会

（事務局）

定刻になりましたので、これから長野市総合計画審議会を開会いたします。

進行を務めます企画課の花立と申します。よろしくお願いいたします。

本日の資料は、事前にお送りいたしました、次第と資料 1・2・3 と別冊資料となります。それから、机上に配布しましたモニター募集のチラシとなりますので、ご確認をお願いします。

また、本日は塚原委員、増山委員、長峯委員、山浦委員からご欠席のご連絡をいただいておりますのでご報告いたします。それでは三浦会長からあいさつを申し上げます。

会長、お願いします。

2 会長あいさつ

（三浦会長）

皆さんこんにちは。リオ・オリンピックが終わっても暑い日々が続いています。

今後、策定に向け統計指標をつめていくこととなっていますが、施策の成果を表わす大切な部分になると思っています。どうやって成果を図るのがポイントとなります。だいぶ大詰に近づいてきたと思っていますので引き続きご協力をお願いいたします。

3 委嘱

(事務局)

ありがとうございました。

2年前、審議委員にご就任いただいてから、来月の4日で任期が満了となります。皆さまには、ご就任をお願いした時をご説明しましたように、また先日お願いしましたとおり、計画策定のスケジュールと1期2年の委嘱期間がうまく噛み合わないことから、もう1期2年の延長にご承諾いただき、平成30年9月4日までお願いしたいというものです。

本来でしたら、事前にご承諾いただいていることから、本日は委嘱書をご用意すべきところですが、事務処理上、再度、先日郵送させていただきました就任承諾書にご署名・押印いただいた上で、委嘱書の交付とさせていただければと思っております。

いずれにしましても、皆さまには、計画策定までのもう少しの期間と、策定後は会議開催頻度は大幅に減りますが、引き続き審議委員として、総合計画の進捗管理などをお願いしたいと思っております。以上です。

4 議事

(事務局)

それでは、審議に移らせていただきますが、議長につきましては、三浦会長にお願いいたします。なお、審議時間ですが事務局としましては午後4時までにはと思っております。よろしくお願いたします。

(三浦会長)

それでは、議事に入ります。

議事の(1)の第五次総合計画前期基本計画(素案)の①分野別計画と②図表について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

企画課の倉島でございます。それでは、議事の①分野別計画、②図表に関して、前回からの変更点を中心にご説明いたします。

— 資料に基づき説明 —

以上で説明を終わります。

(三浦会長)

ありがとうございました。今のご説明の中で、保健・福祉分野で政策タイトルに修正があると説明がありましたので、ご担当いただいている部会を代表して、碓井先生からご説明をお願いします。

(碓井委員)

保健・福祉分野につきまして修正をお願いしております。資料1の15ページをご覧ください。以前は「政策1 少子化対策、切れ目ない子育て支援」というタイトルでございました。これは主に子育て中の保護者への支援に着目した内容でした。しかし、長野市としても、子どもを中心に据えて、子ども自身の育ちを支援していくことが重要であり、そのことを施策の展開で明確に示していく必要があるのではないかと考え、保健・福祉作業部会で協議した結果、政策名を含めてたたき台から大幅に修正し、このたび提案した素案として提示させていただいております。よって、政策1について「少子化対策、切れ目ない」の後に「子ども」を加えて「少子化対策、切れ目ない子ども・子育て支援」と修正し、子ども自身の健やかな育ちのための支援をしていくことを、政策名でも示すこととしております。このことに伴い、基本構想においても「少子化対策、切れ目ない子ども・子育て支援」とさせていただきたいと思っております。

次に、各施策の位置付けに関しまして、施策1「結婚、妊娠・出産、子育ての切れ目ない支援」は保護者に対する支援、施策2「子どもの成長を育む環境の充実」は、子どもの育ちに対する支援、施策3「社会的援助を必要とする家庭等の自立支援」は、特に支援が必要な家庭への支援という形で整理した上で主な取組について修正を加えております。

施策2の「子どもの成長を育む環境の充実」の中では、幼稚園・保育園・認定こども園における保育の質や、職員の力量の向上、小学校との連携の推進、また子どもの健やかな成長を育む家庭環境づくりの支援を挙げております。これらのことを通じて、乳幼児期の教育・保育は将来に渡る人格形成の基礎を培うとともに、学びの入り口としても重要であることから、総合計画に基づき長野市の乳幼児期の教育が充実していくことを図っていききたいと思っております。以上です。

(三浦会長)

ありがとうございました。ごもつもの理由だと感じますので、この方向でよろしいかと思いますが、いかがでしょうか。いずれにしても、もう少し時間的猶予がありそうですので、次回に向けて引き続き部会でのご議論をお願いしたいと思います。

では、続いて議事の「③アンケート指標」について事務局から説明してください。

(事務局)

それでは、アンケート指標の全体設計と調査票案についてご説明いたします。

— 資料に基づき説明 —

以上で説明を終わります。

(三浦会長)

ありがとうございました。アンケートのページのどこが変わるのか教えていただけますか。

(事務局)

まず、14 ページの 34 番「コンサートやイベントの開催」を「コンサートやスポーツ大会の開催」へ、15 ページの 1 番「子育て世代」を「子育てしている家庭」へ、16 ページの 26 番「市内の競技場」を「市内のスポーツ施設」へ、17 ページ 37 番「まちをよくする」を「地域づくりに関するアイデア」へ、「行政」を「市役所や自治会」へと修正いたします。

(三浦会長)

ありがとうございました。各作業部会の原案をベースに、このような社会調査の実績ある専門家のアドバイスを受けているようですので、基本的には問題ないと思いますが、何かご質問はございますか。策定スケジュールもありますので、ご意見がありましたらこうした方がいい、というように代案も出していただければと思います。

先ほどのご説明で、「市内」という表現がございましたが、善光寺平ということで、バスケのある千曲市とかその辺までは入れられないでしょうか。

(事務局)

まずは、長野市の総合計画ですので市内での効果を狙っていきたいと思っております。ただ、この行政経営分野の中でも広域的な取組というものがあまして、その中でも長野市が中心的な役割を担っていくという連携中枢都市圏の構想、あるいは広域連合といったものがございます。こういったものは総合計画の中にも記載していて、長野市だけではなく長野地域といった広い地域も視野に入れて、賑わいや人口減少対策といったものに対応していくということで、一義的には長野市ですが、もう少し広い視野を持ったものも総合計画の中には含まれている、ということをご理解いただきたいと思います。

(三浦会長)

ありがとうございました。他にございますか。

(金井委員)

アンケートの部数はどれくらいを予定しているのですか。

総合満足度をどこかに入れてほしいのですが。

(事務局)

まず、対象者ですが18歳以上の無作為に抽出した5,000人の方にアンケートをお配りします。全体的な満足度(評価)をどんな形で入れるかは、検討させていただきたいと思います。

(三浦会長)

他にございますか。ないようですので、アンケートに関してはご理解いただいたということで進めていきたいと思います。それに関連して、モニター制度に関して事務局から説明をお願いします。

(事務局)

市政のモニターである「幸せ実感モニター」につきましては、より市民意識調査の精度を高めるため、回答の変化等の理由を記述いただくことで、意識の推移を把握していくため、アンケート調査に加えて、第五次総合計画前期基本計画において新たに設けていくことを、前回審議会において説明いたしました。

これまで、新聞等の報道で取り上げていただいたり、市のホームページを使って募集しております。9月14日まで募集していますが、昨日までに約80人の応募をいただいている状況です。

これから9月の広報ながのへ掲載しますし、市内中学3年生・市立長野高校の生徒への依頼等も含めて、幅広い年代の方々に市政に関心を寄せていただき、応募いただければと思っています。

応募の状況にもよりますが、年代や地域のバランスを考慮して、モニターを選定し、10月には説明会を実施した後、調査を実施した上で次回の審議会には結果をお知らせできるよう進めてまいります。

(三浦会長)

ありがとうございました。アンケートに関することは以上です。

続きまして、議事④計画推進重点テーマ及び第五次総合計画の推進体制について説明をお願いします。

(事務局)

前回から修正した重点テーマと、新たに推進体制について説明いたします。

— 資料に基づき説明 —

以上で説明を終わります。

(三浦会長)

ありがとうございました。前回示された3つのテーマを人口減少抑制の統一的観点から、組み立てなおして、見直したものと思います。

また、プロジェクトということではなく、実現する視点として、キーワードをいくつか並べていただいています。ただ今の説明に関して、ご意見やご感想をお聞きしたいと思います。

(柳沢委員)

3ページのテーマ1の指標に関してですが、「定住人口」というのは単純に定住している人口のことですか。戦略的に考えればどの年代が流出し、どの年代が流入しているのかということの方が戦略的には重要ではないかと思えます。

(事務局)

具体的には、住民票の台帳をベースに長野市の人口を見ていきたいと思えます。その時に、今ご意見いただいたような社会動態や自然動態についても併せて見ていきたいと思えます。

(白石委員)

重点テーマの「テーマ1、2、3」という書き方に違和感を感じました。事務局もテーマ3から2、1という説明の仕方でしたので、最終的な目標であるテーマ1の「定住人口の増加を実現するために・・・」という書き方をしたらどうかと思いました。

(事務局)

ありがとうございました。おっしゃるとおり、テーマ1が最終目標ですが、流れとしたらテーマ3の暮らし続けられる環境づくり、その上でテーマ2の交流人口の増加、そしてテーマ1の定住人口の増加というように説明した方が分かりやすいかと思ひまして、先ほどのような説明をいたしました。最終的には、テーマ1の定住人口の増加に向けてということですので、この順番で作成しているものです。3ページのテーマ1、2、

3 の下の説明文に関してもテーマ3からの説明となっておりますので、分かりづらいようであればそちらは検討していきたいと思えます。

(柳沢委員)

4 ページで、「テーマを実現する視点」の中に「市内における地域間交流や教育交流、都市・農村交流を含む国内外との交流」とありますが、この「都市」とはどういう意味か、また農村交流とはどういうことかよく分かりません。例えば「市内のみならず、国内外との地域間交流や教育交流・農村交流」としたらどうでしょうか。

(事務局)

ありがとうございます。分かりやすいように考え直したいと思えます。

(川北委員)

テーマ1で、仕事が生まれたり企業が育ったりということが大切だとありますが、人が活躍する場というのは、仕事の間だけではありせん。社会参加とか、多くの人それぞれを持ち味を活かして活躍できる場がある、というのも活力につながるのかなと思えます。私は京都にある大学で勉強していたので、その賑わいを想像すると、仕事だけではなく様々な場面で多くの人活躍していたので、そういったことが活力あるまちづくりにつながると思えました。

テーマ2については、長野市に今あるいいものを伝えたり、活かしていくということは書いてありますが、新しい物を育てたり、発展させたり、文化を創造していく、という発想がないので「新しく作り出す」という視点を入れてほしいと思えます。

もう一点、テーマ2の交流人口についてですが、文章を読んだだけだと、単純に人の移動が増えていけばいいと捉えられますが、交流は数ではなく質が大切だと思うので、交流の質をよくするような文言を加えて、長野市が多様性のある創造的な都市になってほしいと思えます。

テーマ3については、指標に「住みよさランキング」を使うとありますが、長野県や長野市のランキングはそこそこ上の方にいると思えます。それにもかかわらず人口が減っていているということは、このランキングを使う意味がないのではないのでしょうか。違う指標が必要ではないかと思えます。

最後に、このテーマ3つを分野横断的な視点で取り組んでいくということですが、各分野を見ていくと、ここに書いてあるテーマとうまくつながっていないと感じたので、これをどうやってつなげていくのかが必要なかと思えます。司令塔がないと、ものが動いていかないと思うので、どのように推進していくかについてもはっきりさせてほしいと思えました。

(事務局)

活躍の場や、創造性、交流の質については文章の中にどれだけ入れられるか、検討させていただきます。「住みよさランキング」の結果ですが、長野市は 261 位です。これは決して上位ではありません。以前新聞に載った「幸福度ランキング」とは違う指標になっていますので誤解のないようお願いいたします。しかしながら、指標の中身については今後もよく分析をしながら考えていきたいと思えます。

3つのテーマの司令塔ということに関してですが、この3つのテーマをどうやって進めるかということも確かに大事なことでして、推進体制についてはこれから考えていかなければならないと思えます。ありがとうございました。

(三浦会長)

別冊資料の2ページに関してですが、第四次総合計画で「働きたい人が仕事につきやすい環境がある」「森林や山林資源の整備と有効活用が行われている」「工業や製造業に活気がある」という項目があつて、これらはどれもとても大事なことだと思いますが結果として評価が低かった。そこで、これらをどうやって実現させるか、という視点で第五次総合計画を作成していただいていますでしょうか。どのようなイメージなのか教えていただきたいと思えます。

(事務局)

例えば第四次総合計画の中の「工業や製造業に活気がある」という項目に対して、今の「ICT産業の導入」ということがあります。このように平成27年度満足度結果を見ながら、現在長野市が抱えている課題や現況を捉えています。ダイレクトに反映されるかという難しい部分もございしますが、満足度結果を踏まえた上で、今後どうやって取り組んでいくかということを経営戦略として捉えています。

(会長)

この重点推進テーマに関しては、また議論する機会はいただけるのでしょうか。

(事務局)

この重点推進テーマの3つの方向性についてはここで決めたいと思っております。中身に関しては今後ともご議論いただきたいと思えます。

(三浦会長)

そういうことなので、重点推進テーマに関してこれだけは、ということがございましたらご意見等お願いいたします。

(川北委員)

この3つのテーマの関係を図で示したらどうでしょうか。

(事務局)

図でどのように示せるか、また入れ込めるか検討したいと思います。

(三浦会長)

ありがとうございました。他には何かございますでしょうか。ないようですので、重点テーマの3つについてはご理解いただけたということにしたいと思います。

今回は、どのような議論に入っていくのでしょうか。事務局から説明をお願いします。

(事務局)

ありがとうございました。次回以降の審議会についてご説明いたします。まず、今回の状況を踏まえて、作業部会でのご議論をいただくこととなります。

アンケート指標につきましては、基準値となるものを実際にアンケートを実施して決めてまいります。その基準値に基づいて、目標値を設定していきます。今回も基本計画の中に示しておりますが、統計指標についてはすでに多くのものが現状値として出てきております。これも現状値を捉えた上で、目標値を定めていくということです。それを9月以降の部会でそれぞれ進めていただくようお願いします。そして、それらの結果を10月26日に開催予定の次回の審議会で、お示しさせていただいてご議論いただきたいと思います。その先は、11月下旬の審議会の開催です。そこでは答申の素案ということになっております。つまりパブリックコメントに提案していく案ということですが、それを11月末に決定させていただいて、12月のパブリックコメントで市民の皆さんの意見をいただいた上で、年明けには答申案という形にまとめていくというのが今後の大きな流れでございます。

(三浦会長)

ありがとうございました。そういう状況の中で、今日は重点推進テーマについて、細かい表現の変更はあるとしても、方向性については今日お示しいただいた形で皆さんに同意していただいたということで進めていってほしいと思います。

それでは、すべての議事が終了しましたのでマイクをお返しします。

(事務局)

ありがとうございました。その他、事務局からは特にございませんが、皆さん何かございますか。

(白石委員)

実は、松代の住民自治協議会の中で総合計画の状況について説明してほしいと言われて説明したのですが、その中で質問がありました。第四次総合計画の都市整備分野で「多核心連携を目指したコンパクトなまちづくりの推進」ということがありましたが、この「多核心連携」というのは松代にとっては非常に重要なキーワードでして、第四次総合計画の中のことでありますが、結果としてどうだったか教えてほしいと思います。いつでも結構ですのでご回答お願いいたします。

(事務局)

またの機会にご説明いたします。

他に何かございますか。

(本間委員)

統計指標の件で、資料1の12ページの行政経営分野の中の「効果的で効率的な行財政運営の推進」のところ、その中に「資産や債務の正確な把握と適切な管理に基づいた、分かりやすい財務情報の開示に取り組みます。」という記載があります。それに関連した指標として示された、13ページの「実質公債比率」「将来負担比率」というのはおそらく長野市の公共施設白書からだと思いますが、負債とか支出の裏には必ず資産というものがあります。だから、長野市の持っている資産についても明確にできるものがあるといいと思います。例えば、公共施設白書では長野市には815の公共施設があると書いてあります。だからその公共施設の更新等に費用がかかり、負債になる。単に負債がこれだけある、ということだけではなく、資産がこれくらいあるから負債があるということを示すの仕方をしたらいいのではないかと思います。

(事務局)

ありがとうございます。行政分野に関しては、市役所の職員の中で専門部会を作っておりますので、そこで議論していきたいと思います。今の本間委員のご意見ですが、公共施設に関しての資産ということだと思いますが、これについては公共施設白書に出ていますので、確かにそれが一つの目安になるとは思いますが、「効率的な行財政運営」という中では財政状況の全般を測定していく指標ということで「実質公債比率」と「将来負担率」を設定しておりますので、今のところ統計指標についてはこの2つを用いたいと思います。しかしながら公共施設については公表してまいりますし、今後も参考にして進めていきたいと思います。

5 閉会

(事務局)

長時間お疲れ様でした。以上を持ちまして審議会を閉会いたします。先ほどもご案内いたしましたように、次回の審議会は10月26日(水)午後2時から庁議室(第一庁舎5階)で開催する予定でありますのでよろしくお願いいたします。